

集団救急事故訓練

令和3年10月26日（火）東消防署において、多数の負傷者を伴う大規模な交通事故に備えて、集団救急事故訓練を実施しました。

観光バスと軽四自動車が衝突して負傷者が多数あるもようとの想定で行いました。

この訓練は、多数の傷病者が発生した交通事故現場において、いち早く重傷者を発見し、かつ適切な救命処置を施して、速やかに適応病院へ収容することを主眼とした訓練であり、いつ何時発災するか分からない集団救急事故に備え、事前に集団災害を想定した訓練を実施することで、災害時に必要な判断、搬送先医療機関の選定など各隊の判断能力の向上を目的としています。

今後も訓練を継続的に実施して、実践的な災害対応力の強化に努めて、市民のみなさまの安全・安心を守ります。

